

週間漁海況情報—第30号

平成22年08月09日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.8.9）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖でともに接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でかなり離岸、足摺岬でやや離岸している。

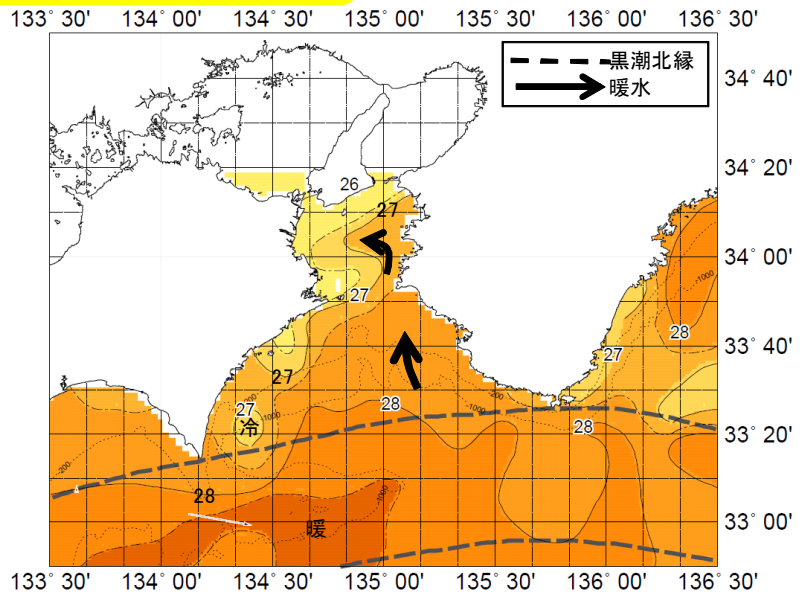
黒潮本流の表面水温は、27～28℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が25℃台、紀伊水道が25～27℃台、海部沿岸が26～27℃台である。

紀伊水道外域の東部では、暖水波及があり、その一部は紀伊水道内部に進入している。

海部沿岸上灘では、岸寄りに内海系水に覆われた箇所がある。

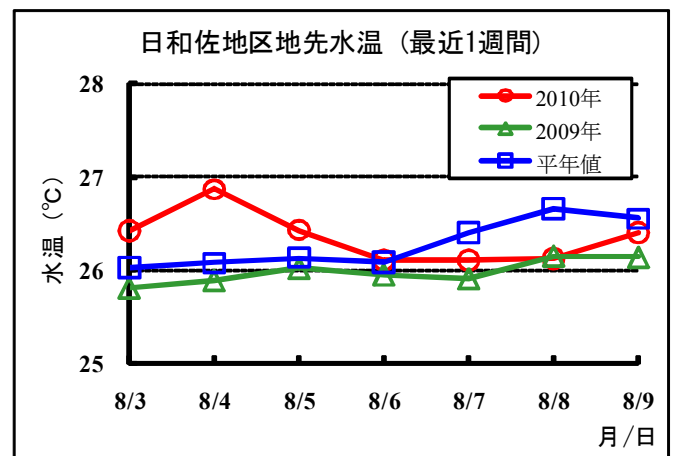
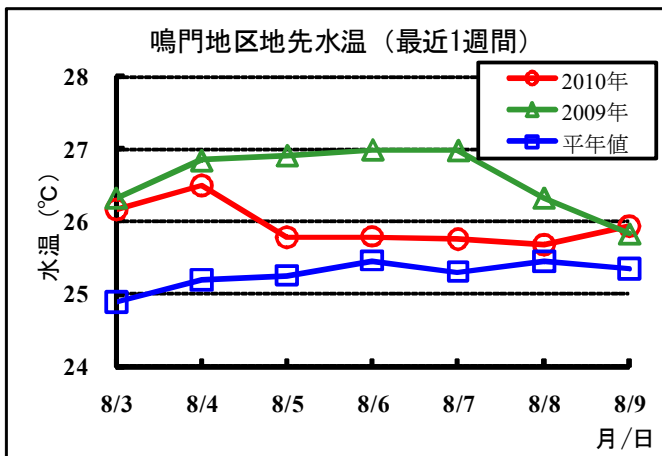
漁業調査船「とくしま」により8月4日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は各層で「平年並み」の22.9～26.4℃であった。



播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
8/4	今年値	26.4	24.8	23.8	22.9	30.9	31.0	31.2	31.4
	平年偏差	0.4	0.4	0.2	0.2	-0.5	-0.6	-0.5	-0.5
	前年偏差	-0.1	-0.7	-0.6	-0.3	-1.2	-1.2	-1.2	-1.3

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の25.7～26.5℃、日和佐地区は「やや低め」～「やや高め」の26.1～26.9℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の25.8～28.0℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大・小主体にゴマサバが0.3トン(1日1隻当たり4kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが1.9トン(同29kg)、カタクチイワシが0.4トン(同6kg)、小小主体にカマス類が2.3トン(同35kg)、小主体にヒラソウダが0.4トン(同7kg)、小主体にマアジが1.1トン(同17kg)、マサバが2.7トン(同41kg)、マルソウダが2.3トン(同35kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、ヨコワが0.7トン(同1kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが52.8トン(同413kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 08月02日～08月08日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	ゴマサバ	69	279	4	大・小主体
小型定置網		ウルメイワシ	65	1,859	29	
		カタクチイワシ	65	415	6	
		カマス類	65	2,271	35	小小主体
		ヒラソウダ	65	439	7	小主体
		マアジ	65	1,111	17	小主体
		マサバ	65	2,670	41	
		マルソウダ	65	2,306	35	
釣り		ヨコワ	669	696	1	
パッチ網		シラス	128	52,800	413	

週間予報：黒潮は室戸岬沖と潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の26℃台、日和佐地先は「平年並み」の26℃台後半～27℃台前半で推移する見込み。